

公益財団法人畑崎財団
平成29年度 事業報告書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

■公益目的事業について

事業番号	事業の内容	事業比率
公1	最先端の医療の研究及び開発事業	70.1%

事業費 15,600,000 円

【趣旨】

わが国が、いま成熟した長寿社会に移行しつつあるなかにあつて、ファッションブルエージング（年を重ねても明るく健康で内面も充実した生き方）を目指し、スマートでファッションブル（元気で気持ちも前向きで、それが装いや行動にあらわれ活動できる）に明るく健康な社会づくりに貢献するため、健康づくりに関わりのある最先端の医療の研究、開発を行い、その内容を広く発信する。

【事業実施内容】

1 研究題目

脂肪幹細胞移植による脳梗塞治療法の開発

2 研究目的

ヒト脂肪組織由来幹細胞（Adipose-derived stem cell：ADSC）移植による脳梗塞治療を臨床応用するために、その至適条件決定と安全性確認を行うことを目的とする。

3 研究内容

① 臨床応用のためのヒト脂肪由来間葉系幹細胞の分離培養法確立

ヒト脂肪組織より、ファーストステムセルの持つ無血清培地を用いた培養法にて、ヒト脂肪由来間葉系幹細胞を確立した。

② 前臨床試験にて安全性と有効性の確認

ヒト脂肪由来幹細胞の静脈内投与により急性期脳梗塞に対する神経機能改善効果が確認できた。また、同じくヒト脂肪由来幹細胞の静脈内投与により急性期脳出血に対する神経機能改善効果が確認できた。

③ 『重度の急性期脳梗塞患者を対象とした自己骨髄単核球細胞静脈内投与の安全性及び有効性を評価する臨床試験』の特定認定再生医療等委員会への申請。兵庫医科大学においてヒトを対象とした臨床試験の準備が最終段階まで準備できた。

4 研究分担

当財団

研究全般における統括、調整

兵庫医科大学

脂肪幹細胞の分離培養、臨床応用、CPCにおける調整、細胞移植実施

ファースト・ステムセル・ジャパン株式会社

脂肪幹細胞の分離培養、脂肪幹細胞移植に関する基礎研究

5 研究実施場所

兵庫医科大学病院内、ファースト・ステムセル・ジャパン株式会社、公益財団法人畑崎財団

【総括】

ヒト脂肪組織から幹細胞の分離培養法を確立し、脂肪由来幹細胞の動物モデルでの有効性を確認した。臨床応用に向けては、今後、臨床研究もしくは治験に向けた製品の作成とその安全性の確認が必要となる。安全性試験に関しては、特定認定再生医療等委員会もしくは医薬品医療機器総合機構(PMDA)と相談し、求められる水準をクリアできれば、臨床試験もしくは治験が可能となる。

事業番号	事業の内容	事業比率
公2	地域活動表彰事業	10.2%

事業費 2,263,256 円

1. 趣旨改正

今年度、5回目の表彰という区切りを迎えるため、これまでの実績等を踏まえ、賞の趣旨をより効果的に実現するため、所要の改正を行った。

2. 改正事項と理由

(1) 賞の名の変更

「畑崎記念ファッショナブルエイジング賞」⇒「畑崎賞」

(理由)

より簡明な名称とすることで、賞の広がりを図り、賞の知名度を上げ、推薦数の増加につなげるとともに、畑崎財団による社会貢献事業の周知を高める。

(2) 対象者の明確化

対象者を兵庫県内の個人・団体又は兵庫県にゆかりのある個人・団体であって、高齢者(団体を含む)と、一般の者(団体を含む)、の二つに明確に区分する。

(理由)

従来からも、両者を対象にしていたが、明確に区分した記載を行っていなかったため、高齢者(団体を含む)の推薦が主になっていた。賞の趣旨を実現するためには、高齢者と併せて、ファッショナブルエイジングの実現に向け活動する若手、中堅層を顕彰することが、本賞の未来(中、長期)への展望にも資する。

(3) 対象区分の変更

「健康づくり活動、知的活動、社会奉仕活動の3つの活動分野から各2件

以内（6件以内）」⇒「高齢部門と一般部門の2部門から各2件以内（4件以内）」
（理由）

活動分野の重複も多く、また、分野への分類が困難なケースも少なくなく、また、推薦分野の偏りもみられることや、上記（2）でも述べたように、高齢者自身の取り組みと共に、若者、中堅層の取り組みにもより光をあてることが、本賞の未来の展望にも資する。

（4）選考方法

県、市町、関係団体等からの推薦に基づき、選考委員会の審査を得て、理事長が決定する。

（5）受賞者数

1年間の受賞者数は、各部門毎に2件以内

賞状及び副賞1件につき50万円以内を贈呈。受賞者の栄誉を称え、贈呈式を行う。

【事業実施内容】

平成29年7月1日

選考委員就任

委員長	新野幸次郎	公益財団法人神戸市都市問題研究所 理事長
委員	齋藤富雄	関西国際大学 副学長
	中村三郎	社会福祉法人神戸市社会福祉協議会 理事長
	木村光利	公益財団法人兵庫県芸術文化協会 副会長
	高士 薫	株式会社神戸新聞社 代表取締役社長
	畑崎美代子	公益財団法人畑崎財団 理事

平成29年9月1日

第5回畑崎賞 第1回選考委員会開催（於 神戸国際会館内 兵庫倶楽部）

畑崎賞の実施要領、委員会設置要項、選考基準の改訂と、選考スケジュールの確定

平成29年9月6日

県、市町、関係団体、合計70件に推薦依頼

平成29年10月31日

27件の推薦

平成29年12月6日

事前選考検討会実施（於 当財団事務所）

平成30年1月25日

第2回選考委員会開催（於 当財団事務所）

理事長承認、受賞者決定

- ① 野口 純子（城下町洲本再生委員会 会長）
- ② 堂馬 英二（六甲山を活用する会 代表幹事）

（敬称略）

平成30年3月2日

第5回畑崎賞表彰式実施（於 神戸国際会館内 兵庫倶楽部）

※事業報告の附属明細書については、平成29年度事業報告書に含むものとする。

以上